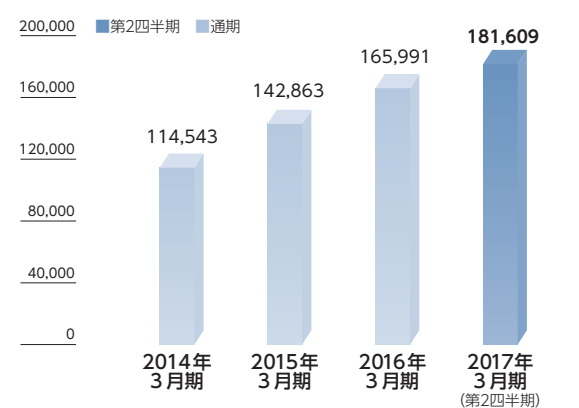
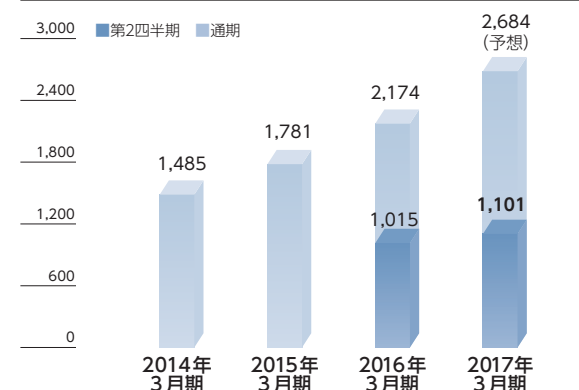


財務ハイライト Financial Highlights

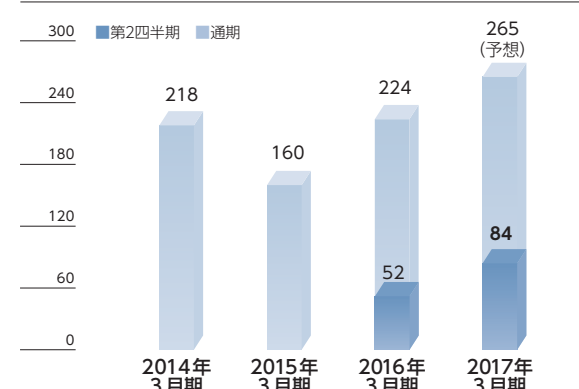
保証件数 (件)



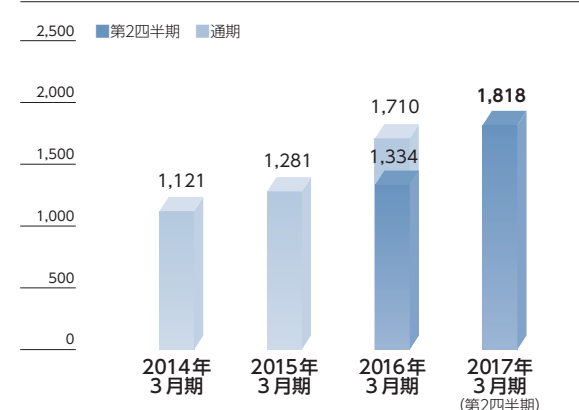
営業収益 (百万円)



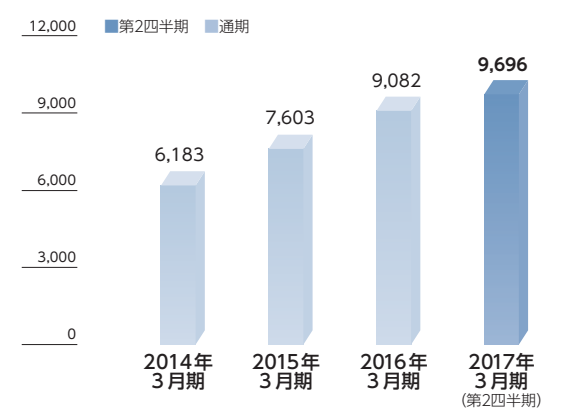
当期(四半期)純利益 (百万円)



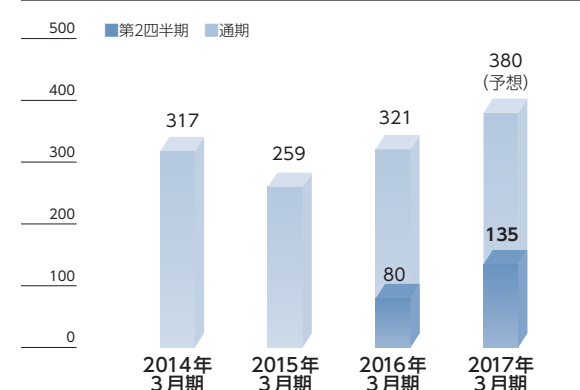
純資産 (百万円)



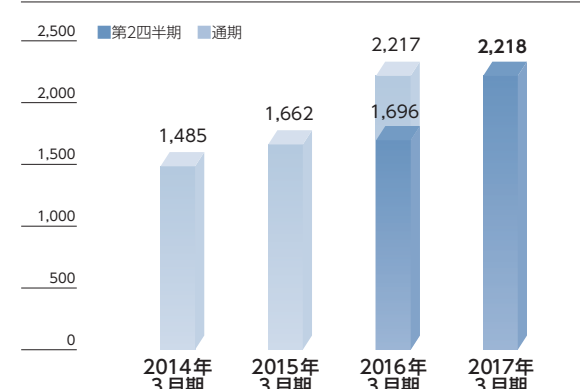
保証残高(月額) (百万円)



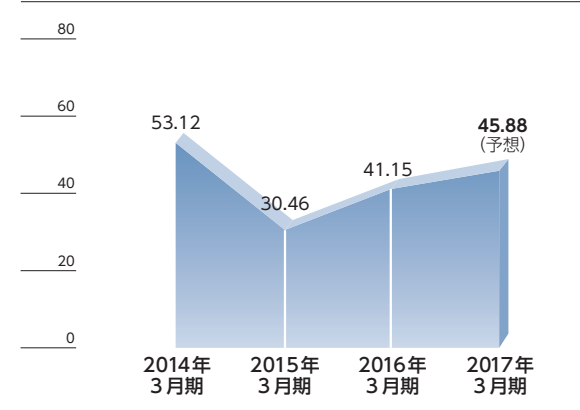
経常利益 (百万円)



総資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)※



※ 当社は、2015年6月19日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行い、2016年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。2014年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり純利益を算定しております。
※ 1株当たり当期純利益は、2016年12月1日付株式3分割前の数値となります。

当社HPのご案内

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、決算情報などを適宜掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

<http://www.srgs.co.jp/>



会社概要 (2016年9月30日現在)

会社名 あんしん保証株式会社
(Anshin Guarantor Service Co.,Ltd.)
設立 2002年12月
資本金 6億7千4百万円
所在地 東京都中央区京橋1-11-8
社員数 95名
事業内容 家賃債務の保証事業
拠点 11拠点

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役 雨坂 甲
専務取締役 森脇 敏和
取締役 中西 光明
取締役 西田 忠広
取締役(非常勤) 佐藤 正之
取締役(監査等委員) 谷村 豊
社外取締役(監査等委員) 佐賀野 雅行
社外取締役(監査等委員) 村上 寛

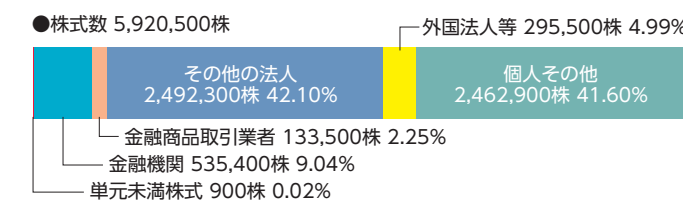
株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 21,096,000株
発行済株式の総数 5,920,500株
株主数 1,622名

大株主 (2016年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アイフル株式会社	2,136,000	36.08
雨坂 甲	663,400	11.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	269,000	4.54
小川 秀男	184,500	3.12
高橋 誠一	154,500	2.61
渡邊 定雄	153,400	2.59
石井 恒男	146,000	2.47
AGキャピタル株式会社	126,000	2.13
BBH FOR GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	125,000	2.11
政岡土地株式会社	102,900	1.74

株式分布状況 (2016年9月30日現在)



(注1) 株式数は百株未満は切り捨てて表示しております。
(注2) 持株比率は小数点以下3桁目を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 6月開催
基準日 定時株主総会 3月31日
中間配当基準日 9月30日
期末配当基準日 3月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 0120-782-031
1単元の株式数 100株

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。当社の公告掲載URLは次のとおりであります。
<http://www.srgs.co.jp/>

各種手続き 氏名・住所変更、単元未満株式の買取等、株式に関する各種お手続きは、ご利用の証券会社へお問合せください。なお、未払配当金のお支払い及び特別口座に関するお問合せについては、三井住友信託銀行株式会社にて承っております。
未払配当金及び特別口座に関するお問合せ先
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031 (受付時間：平日 9:00～17:00)
URL:<http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

Peace of mind

第15期 中間株主通信

2016.4.1～2016.9.30



あんしん保証株式会社

証券コード：7183

連帯保証人制度に代わる機関保証の普及の実現に邁進します。

経営理念

人として社会に感謝し、地域社会の発展に挑む

経営方針

賃貸人と賃借人の予期せぬ不利益を抑制し、不動産賃貸業界と家賃保証業界の発展に寄与する



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。2016年度第2四半期（2016年4月1日～2016年9月30日）までの業績につきまして、ご報告申し上げます。

当社は、「連帯保証人制度に代わる機関保証の普及の実現」という企業ミッションを掲げ、連帯保証人制度に代わる住環境のインフラの一端として、賃借人や連帯保証人の便益の向上、賃借人と賃貸人とのトラブルを抑制するセーフティネットの役割を目指しており、業界として初めて東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場後の成長ステージにおいて事業の拡大に向けた取り組みに邁進することで、企業ミッションの実現を果たしてまいりる所存です。利益還元につきましては、当第2四半期におきましては1株当たり5円の上場記念配当を行わせて頂きました。期末配当金につきましては、1株当たり6円（2016年12月1日付株式3分割前の値）を予定しております。

今後も、当社株式への投資魅力を高めるため、株主還元を実施してまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、益々のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく御願申し上げます。

2016年11月 代表取締役社長 **雨坂甲**

2017年3月期 経営テーマ 『AND MORE, 更なる“あんしん”の提供のために』 ～新たな成長ステージへ向けた確固たる経営基盤の確立～

Q 当第2四半期の業績について教えてください。

2016年度のわが国の景気は、力強さを欠くものの緩やかな回復基調にて推移しております。企業収益及び設備投資は底堅さを維持しており、住宅着工戸数においては増勢に一服感はあるものの、依然として高水準を保っております。

このような事業環境の中で、当社は2017年3月期経営テーマ「AND MORE, 更なる“あんしん”の提供のために」～新たな成長ステージへ向けた確固たる経営基盤の確立～をテーマに、更なる事業拡大に向け取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期時点の当社決算概要は、保証申込件数の堅調な推移により、営業収益は1,101百万円（前年同期比8.4%増加）となりました。

また、貸倒関連費用が計画値を下回ったことにより、営業利益は106百万円（前年同期比191.1%増加）、経常利益135百万円（前年同期比68.6%増加）、四半期純利益は84百万円（前年同期比61.7%増加）となりました。

当第2四半期までの進捗を踏まえ、通期業績については期初予想の通り、営業収益2,684百万円、営業利益337百万円、経常利益380百万円、当期純利益265百万円を見込んでおります。

保証事業の拡大、貸倒比率の抑制、内部管理体制の強化、業務効率及び生産性向上の推進という当期重点施策の継続した取り組みにより、通期計画の達成を実現してまいります。

Q 市場環境・マーケットシェアに対する取り組みについて教えてください。

総務省統計局データによりますと、不動産賃貸マーケットを表す民営借家総数は、最新情報で約14,500千戸となっており、1993年の統計以来継続的に増加基調となっております。2016年9月末時点の貸家着工数も前年同月比12.6%の増加にて成長していることから、民営借家総数の継続成長が期待出来ます。また、総務省統計局及び厚生労働省データによりますと、総人口は緩やかに減少を辿る一方で、家賃保証のターゲット層そのものは堅調に推移しております。

このような市場環境のもと、当社は株式会社アプラスとの業務提携による「アプラスあんしんレントギャランティ」、イオンフィナンシャルサービス株式会社の子会社であるイオンクレジットサービス株式会社及び株式会社イオン銀行との業務提携による商品を新たに商品ラインナップに加え、保証サービスの充実による販路拡大を目指しております。

また、並行し販路拡大に向け、戦略的な店舗出店、既存加盟店との取引深耕に取り組んだ結果、当第2四半期時点の当社保証件数及び保証残高は概算で各々18万1千件、96億円となりました。

現時点の当社保証件数がマーケット全体に占めるシェアは、1.25%となっていることから、マーケットにおける成長可能性は十分に存在しているものと捉えております。

Q あんしん保証のビジネスモデルと強みを教えてください。

<当社ビジネスモデルについて>

当社は賃貸借契約における保証人制度を法人として引き受ける家賃債務の保証事業を日本全国11拠点にて展開しております。

当社はライフカード株式会社との提携による「ライフあんしんプラス」、自社による事前立替型保証商品「あんしんプラス」といった保証商品を中心に保証サービスの提供を実施しており、当期より株式会社アプラスとの提携による「アプラスあんしんレントギャランティ」、イオンクレジットサービス株式会社及び株式会社イオン銀行との提携による商品を新たに商品ラインナップに加えたことにより、賃貸借契約に関わる幅広いニーズに即した保証サービスの提供を実現しております。

<当社の強みについて>

当社の強み①：「付加価値保証サービスの提供」

当社保証サービスの特徴は、家賃の支払い期日の前に「事前立替」を実施することで、家賃滞納時に初めて代位弁済を行う「滞納報告型」と言われる一般的な保証商品とは違った、より付加価値のある保証サービスの提供をしております。

具体的に申し上げますと、オーナー様に対しては、入居者様の支払い期日より前に、確実に家賃等の「事前立替」を行うサービスの提供、入居者様に対しては、発券されたクレジットカードから家賃決済に応じてポイントを付与するサービスの提供をしております、オーナー様及び入居者様双方に対し、付加価値のある保証サービスの提供を目指しております。

当社の強み②：「適切な与信管理によるプライシングの提供」

当社は、指定信用情報機関CICの信用情報を基に、自社によるスコアリング機能を活用することで適切な与信管理を実施しております。当社の与信管理機能は、お客様の与信に応じた価格設計を行うことが可能であることから、幅広いお客様に対する機関保証の提供を実現しております。

当社の強み③：「収益の多様化と安定利益をもたらすビジネスモデル」

当社の「事前立替型」保証サービスは、入居者様の毎月の家賃等の引き落としを実施することで、入居時に発生する初回保証料、更新時に発生する更新保証料に加え、月額保証料を頂くことが可能となります。これにより、保証件数・保証残高を増やすことで、毎月安定的に収益を生み出す「ストックビジネス」を実現しております。

Q 2017年3月期経営テーマ及び重点施策に対する取り組みについてお聞かせ下さい。

当社は

「AND MORE, 更なる“あんしん”の提供のために」

～新たな成長ステージへ向けた確固たる経営基盤の確立～

を2017年3月期の経営テーマに掲げ、以下の4点を重点施策とし取り組んでおります。

(1) 保証事業の拡大

既存加盟店との取引の深耕を図る上で、エリアマーケティングを強化することで、地域特性に即した商品提供、戦略的な店舗出店によるサービスレベルの向上を図ってまいります。2016年7月には新たに沖縄営業所の出店を実施しており、今後におきましても人材の採用や、戦略的な店舗網の拡充に向けた取り組みを検討してまいります。

また、新たな販路開拓に向けた取り組みといたしましては、「ライフあんしんプラス」「あんしんプラス」といった既存保証商品に加え、幅広い商品ラインナップを基にした営業展開を実施しております。さらに、トランクルームを対象とした保証マーケットへの参入を開始しており、今後においてはオーナー様ご自身で管理を行っている“一般物件”を対象としたマーケットへの参入等に取り組むことで、更なる販路開拓を目指してまいります。

(2) 貸倒比率の抑制

当社は指定信用情報機関CICの信用情報とスコアリングによる与信管理を実施しておりますが、与信結果に基づきデフォルトリスクを継続的に検証することにより与信管理体制の更なる強化を図ってまいります。

また、既存業務プロセスの見直しとシステム化により業務効率の向上に向けた取り組みを実施してまいります。

(3) 内部管理体制の強化

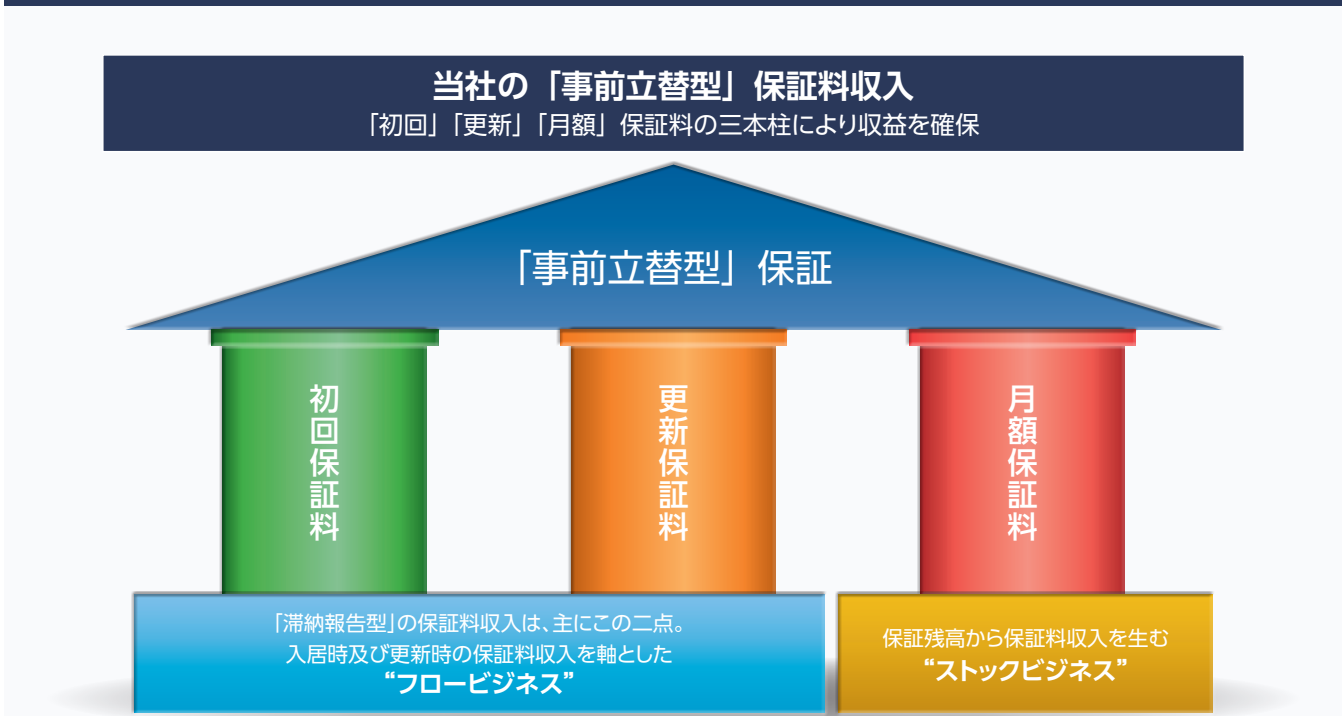
今後の成長戦略と長期的な組織基盤の充実に向け、戦略的な人材採用と、社内教育制度に加え、社外研修制度の導入による人材育成システムの確立と充足に取り組んでおります。また、並行して戦略的な組織体制の構築に向けた取り組みを実施することにより、事業基盤の安定化と効率化を目指しております。

(4) 業務効率及び生産性向上の推進

成長戦略に伴い、データ処理能力の改善、新たな保証サービスに即したシステム対応、既存システムの機能性・効率性の向上等が求められることから、2018年のリリースに向け次期基幹システムの導入に関する取り組みを現在実施しております。

また、並行し事業全般に関わる業務に対するBPRを推進することで、業務効率及び生産性の向上、機能的な組織体制の構築を目指してまいります。

安定収益をもたらすビジネスモデル



幅広いニーズに即した商品の多様化



業績見通し

	17/3月期見通し	前期比増減率
営業収益	2,684百万円	23.5%
営業利益	337百万円	27.4%
経常利益	380百万円	18.1%
当期純利益	265百万円	18.6%

業績ハイライト

	営業収益、経常利益、四半期純利益は増収・増益	保証件数と保証残高は引き続き堅調に推移
営業収益	1,101百万円 前年同期比：8.4%	保証件数 181,609件 前期末対比：9.4%
営業利益	106百万円 前年同期比：191.1%	保証残高(月額) 9,696百万円 前期末対比：6.8%
経常利益	135百万円 前年同期比：68.6%	加盟店数 1,627社 前期末対比：12.5%
四半期純利益	84百万円 前年同期比：61.7%	

※第2四半期の累計値